

瑞穂町住宅マスタープラン(骨子)

住生活に関する課題	基本目標	住宅施策の展開方針	具体的な事業内容
生活環境に関する課題	【基本目標1】安全・安心・快適な住まいと生活環境の実現 誰もが安心して暮らせるよう、災害に強く快適な建築物の整備と、福祉・防犯・子育て支援、環境配慮や補助制度の充実を推進します。	1) 災害に強い安全な住まいづくり (1) 地震に強い都市づくりの推進: 建物の耐震性を高め、火災や危険物などのリスクに対応する安全な都市を目指します。 (2) 密集市街地の耐震改修: 耐震化率の低い密集市街地の耐震改修を優先的に進めるために、耐震改修促進計画に基づき、効果的な誘導施策を検討します。	(1) ①「耐震改修促進計画」の推進(R7年度改定) <u>都市計画課</u> ②補助制度による耐震診断・改修支援の実施 <u>都市計画課</u> ③安全な市街地の整備、再開発 <u>都市計画課</u> (2) 「耐震改修促進計画」の推進(R7年度改定) <u>都市計画課</u>
		2) 誰もが暮らしやすい環境づくり (1) 住環境の整備と住宅セーフティネットの形成: 高齢者・障がい者・子育て世帯などの住宅確保要配慮者を中心に、誰もが安心して生活できる住環境の整備を進めます。 (2) 環境に配慮した住宅建設の推進: 地区計画区域内での建築行為に対して、景観や環境への配慮を促すことで、地域の魅力と調和を保ち、自然と調和する持続可能なまちづくりを目指します。 (3) 計画的な公園整備および維持管理: 地域の特性を活かした魅力的な公園づくりを推進し、安心・安全な空間として整備します。 (4) 防犯環境の推進: 犯罪抑止を図るとともに、犯罪をさせない環境整備を推進します。	(1) ①住宅改修費の給付制度を実施 <u>都市計画課</u> ②町営住宅における浴室・洗面所のバリアフリー化工事の実施 <u>都市計画課</u> ③高齢者・障がい者・子育て世帯など住宅確保要配慮者世帯に対する支援 <u>都市計画課</u> ④床面積2,000㎡以上の共同住宅は東京都の「福祉のまちづくり条例」に基づくユニバーサルデザインの採用 <u>福祉課</u> (2) ①地区計画区域内での建築届出制度の運用 <u>都市計画課</u> ②景観保護に関する案内・啓発活動の実施 <u>都市計画課</u> (3) ①都市計画公園の整備促進および既存公園の維持管理 <u>建設課</u> ②地域との協働による公園等の維持管理 <u>建設課</u> ③地域との協働や民間事業者の活用なども含めた新しい公園整備、運営のあり方の検討 <u>建設課</u> ④防犯機能の強化・避難機能の整備 <u>建設課</u> (4) 防犯カメラの適正管理・運用 <u>安全・安心課、建設課</u>
		3) 基地に起因する諸問題の解決 (1) 生活環境の保全: 国・自治体・関係機関との連携を通じて、持続可能で快適な居住環境の実現を目指します。 (2) 補助事業の拡充養成: 基地の存在による地域住民への影響を正確に把握し、生活環境の保全を図り、被害実態に応じた補助金・交付金の拡充を国に要請し、地域の公平な支援を確保します。	(1) ①航空機騒音の実態把握のため、騒音測定を実施 <u>企画政策課</u> ②航空機騒音の軽減、基地の安全対策・環境配慮など、基地の整理・縮小・返還を含めた必要な措置の国や関係機関に対する要請 <u>企画政策課、環境課</u> ③町議会、基地周辺自治体やその他関係機関との連携強化 <u>企画政策課</u> ④基地に関する正確な情報収集と的確な情報提供 <u>企画政策課</u> ⑤国や関係機関に対する、軍民共用化への反対 <u>企画政策課</u> (2) ①生活環境の保全と、必要となる補助金・交付金の拡充要請 <u>企画政策課、環境課</u> ②住宅防音工事にかかる告示後住宅の救済や、対象区域、対象施設の拡大要請 <u>企画政策課</u>
居住環境に関する課題	【基本目標2】次世代に承継できる居住環境の整備 次世代に継承できる居住環境を目指し、町と住民が協力して、安心できる住宅の整備と美しいまちなみづくりを推進します。	1) 良質な住まいの供給と維持・向上 (1) 安全・安心な住宅リフォームの推進: 安心して住宅リフォームができる環境づくりと、詐欺防止による住民支援の充実を図ります。 (2) 地球温暖化対策および環境保全活動の推進: 温室効果ガス排出量の抑制や、住民の健康および生活環境の確保をはかるため、環境配慮行動の実践を促進し、環境保全活動の基盤づくりにつとめます。 (3) 良質な住宅地の創出: 「立地適正化計画」に基づき、都市構造を集約し、3つの地区計画(箱根ヶ崎駅西地区・国道16号沿道元狭山地区・新青梅街道沿道地区)により良好な市街地づくりを進めます。 (4) 公営住宅ストック総合活用計画・瑞穂町営住宅長寿命化計画の推進: 公営住宅の有効活用に向けて、量から質への転換を図り、居住性を高める取り組みを進めます。 (5) 空き家等の適正な管理、対策の推進: 空き家等対策計画に基づき、町内に存在する空き家等の適正管理を促すとともに、今後の対策方法を様々な視点から検討します。	(1) ①住宅リフォームに関する相談窓口の設置・運営 <u>都市計画課</u> ②詐欺被害防止の取り組みや消費生活の向上 <u>安全・安心課、産業経済課</u> (2) 住民・事業者などと連携し、温室効果ガスの排出量を抑制 <u>環境課</u> (3) 地区計画に基づく市街地整備の推進 <u>都市計画課</u> (4) 公営住宅の居住性向上に向けた改修・改善の実施 <u>都市計画課</u> (5) 空き家対策の推進 <u>都市計画課</u>
		2) 地域で取り組む美しいまちなみづくり (1) 景観に配慮したまちなみづくり: 景観に配慮したまちづくりを推進し、住民と行政が協働しながら、調和のとれた都市空間の形成を目指します。	(1) ①公共施設の設計における景観への配慮 <u>都市計画課</u> ②無電柱化による景観改善と安全性向上 <u>建設課</u> ③緑化の推進 <u>都市計画課</u> ④住民との連携体制の構築 <u>都市計画課</u>

